

 市場価格

ドル建て      ドル/toz

Platinum	Price	Date
Open	940.5	2023/7/31
High	960.52	2023/8/1
Low	912.61	2023/8/4
Close	926.09	2023/8/4

円建て      円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4260.00	2023/7/31
High	4395.00	2023/7/31
Low	4179.00	2023/8/4
Close	4220.00	2023/8/4

ドル建て      ドル/toz

Palladium	Price	Date
Open	1242.90	2023/7/31
High	1287.37	2023/8/1
Low	1222.63	2023/8/3
Close	1256.51	2023/8/4

円建て      円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	5636.00	2023/7/31
High	5901.00	2023/7/31
Low	5635.00	2023/8/3
Close	5744.00	2023/8/4

 ニュースエクスプレス**EUで電気トラックの市場シェアが1.3%に達するも、プラチナ・ディーゼル自動車触媒の出番は尽きず**

2023年上半年においても大型車両のパワートレインは引き続きディーゼルが主流であり、市場シェアは95.6%を占めた。上半期の大型トラック販売台数も、EUの累計店速にもかかわらず、19.2%の大増となった。欧州の大型商用自動車触媒需要は2023年に400kpcに達すると予測され、世界の大型商用プラチナ自動車触媒需要は、内燃エンジンの増加に伴い、今年7%増の720kpcに達すると予想される。この伸びの大半は欧州外（主に中国、45kpc増）からのものである。電動大型車のユースケースは、積載量と航続距離が最も重要な要素であり、どちらもバッテリーパックの重量とエネルギー密度に影響を受けることから、比較的小規模である。大型車両の自動車触媒需要を最も脅かすのは燃料電池パワートレインによるものであるが、燃料電池の普及は数年先になると予想され、PGMでコーティングされた触媒膜に代わるプラチナ需要源となる。

[https://www.herasus.com/media/media/ptgm/doc\\_hgm/precious\\_metal\\_update/en\\_6/Appraisal\\_20230731.pdf#m5mtrdx=02garMMMSUG2Y1CV1gVbH#Q3m6G-wU879zpwY](https://www.herasus.com/media/media/ptgm/doc_hgm/precious_metal_update/en_6/Appraisal_20230731.pdf#m5mtrdx=02garMMMSUG2Y1CV1gVbH#Q3m6G-wU879zpwY)**トヨタ、レースで車載する水素活用・市販化へ開発加速  
ポンプ耐久性向上/FCごみ収集車公開**

トヨタ自動車の液体水素を燃料とするエンジン車が7月下旬に5時間耐久レースへ出場し、途中でリタイアとなった。トヨタはレースを課題を洗い出す機会と位置づけしており、得られた知見を市販化に向けた開発へ生かす。

レース会場では、水素を使って発電する燃料電池（FC）ごみ収集車の試作車も初めて公開した。

ごみを圧縮して荷箱へ積み込む動力も燃料電池で賄う。ごみ収集車はディーゼルエンジンで駆動しているケースが多く、エンジンを使わないことで音を静かにし、夜間のごみ収集にも利用しやすくなる。重量のある車両は電気自動車（EV）より燃料電池車が向いているとされ、水素の充填はEVの充電より短時間で済む。2023年度中に福岡市へ数台納入し、実証を始める予定だ。海外への納入も目指す。

トヨタはごみ収集車のほか、給食配達車や救急車などを燃料電池車にし、水素利用を拡大する戦略を掲げる。中嶋裕樹副社長は「市民生活を支える車をFC化し、市役所や県庁に（水素を充填する）『水素ステーション』を設置してもらおう。市や県の単位で水素を広げていく」と話した。

ガソリン切れのように水素がなくなる事態に備え、「給水素車」も開発するという。水素エンジン車の開発に加え、利用しやすい環境も整えて水素の普及を目指す。

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ07377450U3A800C2191000> WPIC直近の活動

定置で利用できるカーボンフリー発電の需要の増加にプラチナベースの技術が一役を買う。固体高分子型（PEM）水電解装置能力は今年、5.5ギガワットに（2022年は約1ギガワット）、そしてモビリティ用とは別の定置型の固体高分子燃料電池は25%増の566メガワットに増えるとされる。この両方を合わせるとプラチナ需要は24%増える可能性がある。詳しくはプラチナ豆知識一冊で使うプラチナをご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2023/07/27>

化学産業のプラチナ需要の成長は、多岐にわたるエンドユーザー、そして世界的なエネルギー転換に不可欠なプラチナ触媒が需要の背景となっている工業需要の成長と共通するものがある。本稿ではプラチナの工業需要の中でも、安定して増加を続ける化学産業の需要に焦点を当て、詳しくはプラチナ投資のエッセンス2023年8月号をご覧ください。

[https://platinuminvestment.com/files/443892/WPIC\\_Platinum\\_Essentials\\_August\\_2023.pdf](https://platinuminvestment.com/files/443892/WPIC_Platinum_Essentials_August_2023.pdf)

@wpcipcan